



100台目の開発となったMBE装置を点検する  
前野社長(亀岡市・エピックエスト本社)

# 半導体製造装置 100台開発成功

## 研究向けシエア5割

創業5年目 エピックエスト



半導体製造装置開発の  
ベンチャー、エピックエス  
ト(亀岡市)は、二〇〇  
〇年の創業から百台目と  
なる装置開発に成功し

た。大学などを中心に販  
路を広げ、研究向けでは  
シエアが五割以上に高ま  
り、業界で注目を集めて  
いる。  
同社は、半導体を使う  
薄膜を製造する分子線結  
晶成長装置(MBE)と  
有機金属気相成長装置

(MOCVD)の両方を  
手がける国内では珍しい  
メーカー。百台目となっ  
たのは、超高真空搬送室  
を備えた最新型のMBE  
装置で豊橋技術科学大へ  
の納入が決まった。

前野弘志社長は、日新  
電機に入社、約四十年間  
開発部門でMBEとMO  
CVDの研究に取り組ん  
だ。しかし、同社の事業  
分割などに伴い、事業継  
承会社での研究も経て四  
年前にエピックエストを設  
立。製造装置に特化した  
開発を始めた。  
装置は、研究開発部門  
に使われることが多く、

取引先は全国の大学や企  
業の研究所など幅広い。

同社は、小規模の事業所  
でも納入できるように、  
コンパクトなオールイン  
ワンタイプの面発光レー  
ザー製造向けの酸化装置  
を開発するなど工夫も凝  
らす。

一台数百万円から数億  
円まで相手先に合わせた  
幅広い装置を手がけ、国  
内で研究機関向けシエア  
は五割以上。二〇〇三年  
三月期の売上高は三億八  
千万円、今期の売上高も  
四億円を見込み、増収増  
益を続けている。

前野社長は「研究部門  
向けのほか、異分野にも  
技術の応用を広げてい  
く。二百台目の開発に向  
け五年後に売上高十億  
円、株式上場も目指した  
い」と話している。